

○題材 自分の生き方を考える ～性の多様性から学ぶことを通して～【内容項目：C（公正、公平、社会正義）】

【指導計画】

- 第1次 性の多様性について理解を深める活動を通して、誰もが過ごしやすい社会を考える。（本時）
- 第2次 当事者や関係者の話を通して理解を深める。
- 第3次 性の多様性について理解を深める活動を通して、自分の生き方を考える。

○ねらい

- ・性的マイノリティの人々に係る問題を考えることを通して、性的マイノリティの人々についての理解を深め、誰もが過ごしやすい社会を実現しようとする。

【人権教育を通じて育てたい資質・能力】

- ・差別や不合理などの現存するさまざまな人権問題を解決していこうとしている(態度)
- ・お互いの人権を尊重し、権利と責任について理解する(知識)

○準備 ワークシート

○指導の展開及び指導上の留意点

| | ・学習活動 ◎主発問 ○補助発問 | 予想される生徒の反応 | 指導上の留意点（※） 評価（◆） |
|------------|---|---|--|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを確かめる。 「誰もが過ごしやすい社会とは？」 ・性的マイノリティを公表している著名人の写真を見て、その共通点を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「女装している」 ・「男なのに、男が好き」 ・「男性か女性かわからない」 | <ul style="list-style-type: none"> ※写真の人たちを侮蔑する発言に気をつける。 |
| 展開① 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティについて理解する。 「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」があり、その表現も自由であることを理解する。 ・性的マイノリティに関するクイズを行う。 ①同性愛者は治療が必要？ ②「ホモ」は差別用語？ ③自分の「体の性」「心の性」に違和感を持つのは何歳ぐらい？ | <ul style="list-style-type: none"> ・「性同一性障がい」 ・「同性愛」 ・「異性愛」 | <ul style="list-style-type: none"> ※様々な立場の人が存在することを意識させる。 ※個性のひとつであり、病気でもなく変えられないものであることをおさえる。 ※発想が広がるヒントを与える。 ※②差別的に使われてきた言葉であり、正しい言葉の使い方も理解させる。 ◆性的マイノリティについて理解できたか。（発言、ワークシート） |

| | | | |
|--------------------|--|--|--|
| <p>展開② 10分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティの人々の生活について考える。 ◎性的マイノリティの人たちの生活は快適だろうか？不便だろうか？ ・全員の意見を共有するために快適か、不便か、自分の名前を書いたカード（磁石）をはって視覚化する。 ・グループで意見を交換する。 | <p>【不便である】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りから理解されにくく、就職などでも不都合が起きている。 ・色眼鏡で見られる。 ・まだ世間の偏見や固定観念が強い。 ・トイレや服装で困ることがある。 <p>【快適である】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人たちは幸せである。 ・自分の決定を大事にしている。 | <p>※自分の意見を持たせるとともに、いろいろな意見にふれて、多面的に捉えさせる。</p> <p>※意見が出にくければ、学校での生活、結婚や就職、近所づきあいなど身近な場面を例示して考えさせる。</p> <p>※自分の考えの変容も伝えられるように助言する。</p> |
| <p>展開③ 15分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティの人々のさまざまな権利が守られていないことが生活の不便につながることを理解する。 ○不便なことの原因はどのようなことが考えられるだろう。 ○性的マイノリティの人々のどのような権利が守られるとよいだろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境が整備されていないから。 ・人が受け入れていないから。 ・性的マイノリティについて正しい理解がないから。 ・安心して暮らす ・自分で決める ・自由に表現する | <p>※さまざまな人々と共生し、だれもが快適に過ごせる社会を目指す心と社会のしくみをつくることにつながる視点（権利の視点）を持たせるよう助言する。</p> <p>◆誰もが過ごしやすい社会を実現するために大切なことを考えようとしたか。（発言、ワークシート）</p> |
| <p>終末 5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りをする。 | | |

生徒の感想から

※単元計画や授業づくりの構想等考えられる際に参考にしてください。

- トイレとかで快適に生活できなかったり、まわりの人の理解がなかったりするせいでつらい思いをしている人がいることがわかりました。
- LGBTの人たちについてよくわかったし、みんなが快適に過ごせる社会になるといいなと思った。
- まだ自分の身の回りでそんな人に出会ったことはないけど、もし、友だちや知り合いに LGBTの人がいたら自分はどんな風に対応するのかなと考えられました。
- 男性が好きならそれでいいし、女性が好きならそれでいいです。人はみんなちがうので、それを批判するのはよくないと思いました。
- マイノリティーの人は他者におかしいと思われて差別があるんじゃないか、マイノリティーの人も他者と比べてしまって不安になって自分がマイノリティーなんですということを自然に言えないんじゃないか。
- 僕ができることはそういった方たちをバカにしないこと。バカにしている人がいたら乗っからずに指摘できるようになりたい。
- 人権はだれもが持っているもので、自分の個性や特性でそれがおかされることがあってはいけない。人の個性を互いに認め合うことでどんな人でも快適に過ごすことが可能になる。

■性的マイノリティの人の生活について考えよう。

■性的マイノリティの人のどのような権利が守られるとよいか考えよう。

☆次の言葉も参考に話し合ってみよう。

暮らす

決める

表現する

■学習の感想を書こう。